

(様式2(1))

事業所名 グループホームまどか園

## 目標達成計画

作成日: 平成22年10月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	入居者の方が重度化されていく中、介護に対する経験、知識、技術等々、まだまだ不足している為、今後重度化される入居者の方が少しでも長くグループホームで生活が送れ、そして終末期になってもご本人、ご家族、そしてスタッフ全員が安心して対応していける体制を構築していく必要がある。(今後の制度改正に対応できる為の土台作り)	特別な医療行為が必要な方以外は、出来る限りグループホームにて、訪問看護ステーション、医師と連携を図りながら最期までケアができる体制を作る。又重度化(身体機能)された方についても十分なケアができる。	・職員個々の介護技術、知識の向上を図る為、計画的に研修に参加させる。 →介護福祉士資格の取得 →認知症介護実践者研修、リーダー研修の受講 ・緊急時対応も含め、定期的に訪問看護ステーション、医師、消防署等から指導、研修を受け、非常時における対応が全職員にも出来るよう	12ヶ月
2	52	4月より2ユニットになり、新しい生活環境にも慣れてきた中、屋外での活動が増床するまでと比べると少なくなっている。入居者の方の生きがい作りの一つとして簡単な植栽ができるスペースを作っていく必要がある。(自由に出入りできる屋外スペース)	支援センター横(デイサービスセンター屋上)部分を、日々自由に出入りでき、心地よく過ごせるスペースを作る。又気軽に地元の方と交流が図れる	・デイサービスセンター屋上部分を、安全面でも配慮し、簡単な植栽ができる場所を作る。 ・デイサービスセンター屋上部分を憩いの場として整備し、地元の方との交流スペースとしても活用できるように整備する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。